

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

有限会社プログレ総合研究所

②事業者情報

名称：	三郷市立戸ヶ崎東保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	所長 安藤 博子	定員(利用人数)：	131 名
所在地：	〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-227	TEL	048-955-2311

③評価実施期間

平成 26年 11月30日（契約日）～平成27年 3月27日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

【職員の資質向上に向けた取り組み】

・職員の資質向上に向けた取り組みが組織的に行われている。
 新入職員から管理者まで経験年数に応じて研修が用意され、資質向上を図るキャリアアップ体制が整えられ、モラル、モチベーションを上げるための取り組みがなされている。
 職種別、段階ごとの研修の他、各種マニュアル、規定が整えられている。

【保育の高品質化への取り組み】

・日常の保育の様子は、「かんたんメール」で保護者の携帯電話へ送信、お迎え時には、その日の様子を玄関に設置されたモニターで映像を流し、口頭では保護者に対し、個人の様子だけを伝える時間に費やすようにする。「コピーカフェ」等保護者とのコミュニケーションを高めるための独自の取り組みが行われている。
 ・「マトリクス保育」という「異年齢児交流保育」と「年齢別保育」を融合させた法人独自の保育が行われており、年齢ごとに必要な能力を伸ばしながら、異年齢児交流を通して、リーダーシップや思いやりを育てる取り組みが行われている。
 ・「本物に触れる」という方針のもと、季節を感じる外遊びは、園で保有するバスに乗り、園外保育に出かけダイナミックに遊び、更に、サッカー保育では、元Jリーガーをコーチとして迎え入れる等、本物に触れる保育が行われている。
 ・法人規模を生かした保育。コピーアンドアソシエイツが保有するバスを利用した季節ごとの外出、畑を保有していなくても、グループの保育所で畑を保有する園へ行き、収穫体験による食育。発表会では豊かな表現力が学べるよう、本格的な保育士手作りの衣裳を用意し園で約5000着を保有している。資源を最大限活用し、複数園あるメリットを生かした保育が実践されている。

【食育】

・「本物に触れる」保育方針は食事に関しても実践されている。元銀座東急ホテル総料理長を迎え、月一回「こだわりの食材プログラム」では現地まで足を運び厳選された食材を使用して作られている。食器は陶器を使用する。など味覚を育てるための工夫がされている。
 ・アレルギー除去食・代替食は、アレルギーの種別ごとに普通食と変わらないメニュー表が作成され、除去した食材に栄養素と同等の食材に代替し、見た目も変わらないよう配慮されている。

◇特にコメントを要する点

様々な保育ニーズに合わせ対応できるよう保育内容、職員への研修体系、危機管理など法人規模を生かした保育が実践されているが、今後更にニーズの多様化は進むことが予想される。継続した事例の共有を行い、更に充実した保育となることが期待される。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

保育所の運営について、日頃より法人全体や保育所全体、さらに所長や保育士など個人レベルでも自己評価や振り返りを行っていますが、今回、客観的な見地から評価いただき、大変参考になりました。

特に課題として挙げられた更なるニーズの多様化については、引き続き一人ひとりの利用者の意見を聞き出せるよう日頃のコミュニケーションを図るとともに、法人規模でノウハウを共有し、豊富な経験値を蓄積することで対応したいと考えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり